

夏期の穂やけ症に強い黄色グラジオラス新品種候補「ひたち11号」（仮称）			
[要約] 「ひたち 11 号」は「プリンセスサマーイエロー」から生じた黄色単色の突然変異体である。到花日数は 80 日程度で、しなやかな草姿を持つ中輪の中生系統である。穂やけ症の発生が少なく、夏期高温期にも安定した出荷が可能である。			
茨城県農業総合センター生物工学研究所 〃 園芸研究所	令和2年度	成 果 区 分	普及

1. 背景・ねらい

本県におけるグラジオラス切り花出荷は、主に 6～9 月と、夏期高温期を含む作型で生産されている。産地では夏期の高温や強日射で花穂が焼ける「穂やけ症」の発生が問題となっており、出荷量や品質が低下している。特に黄色品種では、既存品種の中に穂やけ症に強い品種がなく、夏期の出荷が困難な状況である。本県育成品種「プリンセスサマーイエロー」（以下、「PSY」）は穂やけ症の発生が少なく、夏期高温期でも安定栽培が可能な優良品種であるが、花色が黄色と明橙赤色の複色であり、用途が限定されていた。そこで、「PSY」から生じた花色突然変異体の選抜を行った。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 「ひたち 11 号」は平成 19 年に「PSY」から生じた花色突然変異体から選抜した。
- 2) 花色は元品種「PSY」が黄・明橙赤の複色であるのに対して、「ひたち 11 号」は黄・薄黄の単色である（表 1）。花の配列は不整であり、花弁にフリルがある（写真 1）。
- 3) 季咲き栽培における到花日数は 3 か年平均で 80.6 日と、「PSY」と同等の中生系統である（表 1）。最大花径、小花数、切花長は「PSY」と同等で、しなやかな草姿を持つ中輪系統である。木子からの増殖性は「PSY」と同等である。
- 4) 夏期高温期における穂やけ症の発生は、現地で栽培されている黄色品種「バナナラマ」と比べて少なく、「PSY」と同等に低率である（図 1）。従って、「PSY」同様、夏期高温期の出荷が可能である。
- 5) 関係者評価（生産者、JA、民間種苗会社、県関係者）では、「PSY」と比較して「花色」や「総合評価」等の項目で評価が高い（表 2）。高評価の理由として、「安定した栽培が可能」、「暑い時期に出せる黄色単色」等の意見がある。
- 6) 市場性評価は、「花色」および「花形」については高く評価されたが、「花の大きさ」及び「全体のボリューム」については、「普通」が多い（データ省略）。
- 7) 期待される用途では、「生け花」や「フラワーアレンジメント」が多く、小売り向け品種として有望と考えられる（データ省略）。
- 8) 現地適応性試験における生産者の評価では、促成栽培、抑制栽培ともに花色が単色黄色であるため、総合評価が高い（データ省略）。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 花弁に元品種「PSY」の明橙赤色が混じる花色復帰症状（写真）の発生株率は、3 カ年（H30 ～R2 年）の調査で 1.2～2.7%と低率である（データ省略）。
- 2) 普及対象：県南地域、目標面積：夏期出荷を中心に 30a（10 万球相当、黄色品種全体の約半分のシェア）、提案元：県南農林事務所経営・普及部門

4. 具体的データ

表1 グラジオラス「ひたち 11 号」の季咲き栽培における特性(平成 28, 30 年、令和元年)

系統 品種	年度	花色	花の 配列	定植日 (月/日)	開花日 (月/日)	到花 日数 (日)	最大 花径 (cm)	小花数 (花/株)	同時 開花数 (花)	切花長 (cm)	切花重 (g/本)	球根・木子 収量 ⁽³⁾ (L)
ひたち11号	H28	黄・薄黄	不整・ 上向き咲 き ・フリル弱	4/28	7/20	82	8.3	16.3	6.3	113.6	152.5	-
	H30			5/9	7/25	77	7.0	14.6	6.6	95.6	77.0	3.5
	R1			5/8	7/30	83	7.0	16.3	6.5	116.4	73.7	6.4
	平均					80.6	7.4	15.7	6.5	108.5	101.1	5.0
PSY	H28	黄・明橙赤	不整・ 上向き咲 き ・フリル弱	4/28	7/20	81	8.3	17.0	6.6	110.0	167.5	-
	H30			5/9	7/27	79	6.6	16.5	6.7	95.8	84.5	3.5
	R1			5/8	7/31	84	6.7	17.3	6.2	116.7	67.0	6.1
	平均					81.3	7.2	16.9	6.5	107.5	106.3	4.8

- 1) 耕種概要: 基肥N、P₂O₅、K₂O=各15kg/10a(H30年のみ基肥N、P₂O₅、K₂O=各10kg、本葉4〜5枚頃に追肥N、K₂O=各2.5kg)、病虫害・栽培管理は
県栽培基準に準じた。
2) 花き形質に関する調査は農林水産省品種登録審査に係るグラジオラス属審査基準(H26年3月)に従った。
3) 球根・木子収量は2カ年の調査増殖用に定植した木子からの収量を示す(栽植密度0.5L/0.45㎡)。

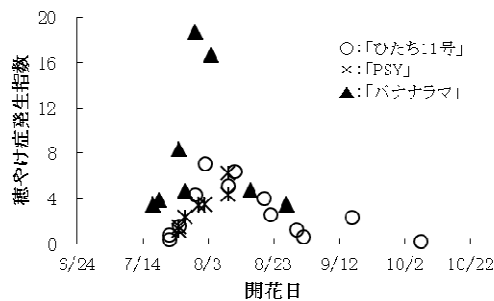


図 1 開花日と穂やけ症発症程度の関係(令和元年)

(指数=100*発生株率*発生小花率*焼け面積率)

表 2 現地検討会における関係者評価(平成 30 年)

供試系統	花の 色 (1〜5)	花の 大きさ (1〜5)	花の ボリューム (1〜5)	咲き方・ バランス (1〜5)	総合 評価 (1〜5)
ひたち11号	3.6	2.9	2.8	3.5	3.7
主なコメント (長所) 通年安定した作りができる(農業者)。 色・咲き方のバランスが良い(農業者)。 暑い時期の黄色単色はないので良い(普及)。 花きれい、穂やけ症に強いのは良い(普及)。 (短所) 花が小さい(普及)。黄色が薄い(行政関係)。 (その他) 小さめなのでホームコースで良い(JA関係)。					

- 1) 対照品種: プリンセスサマーイエロー(PSY)。
2) 対象は生産者、JA、民間種苗会社、県関係者。値は回答者17名の平均。
3) 設問は、1: 良くない、2: やや良くない、3: 同等、4: やや良い、5: 良い。



写真 A 「ひたち 11 号」(左) と「PSY」(右) の草姿

写真 B 「ひたち 11 号」の花姿

写真 C 「PSY」の花姿

写真 D 「ひたち 11 号」における花色復帰症状事例(矢印部)

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

- 1) 新品種育成普及促進事業・平成 29 年度～・生物工学研究所果樹・花き育種研究室
2) 新品種育成普及促進事業・平成 30 年度～・園芸研究所花き研究室